

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1 ○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員のモラルとして、利用者様の人権尊重、プライバシーの尊厳を厳守して利用者様の支援を行う。利用者様がゆっくり、ゆったりした家庭的な雰囲気の中で、穏やかに、その人らしく毎日の生活を営めるように配慮しながら社会活動への参加も促す。		利用者様の出来る事ややりたい事は残存機能の活用の為、積極的に勧めする。又、社会活動参加の機会を作り、参加をお勧めする。
2 ○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々話し合い、取り組んでいる		カンファレンスや申し送りノートを活用して、職員同志で同じ情報を共有し取り組んでいる。
3 ○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や家族様との個別での話し合いを設けている。		グループホームの理念を、家族や地域の人々に少しずつであるが、理解してもらっている。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4 ○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	音楽会など行事の時に地域住民への参加も呼びかけている。道行く人には挨拶する事を心掛けている。又、自治会の行事にも参加できるように取り組んでいる。		保健センターでの催し物や一ヶ月に一回程度、買い物の際に喫茶店を利用している。日常的には散歩の時に公園に立ち寄る。
5 ○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	音楽会など行事の時に地域住民への参加も呼びかけている。道行く人には挨拶する事を心掛けている。又、自治会の行事にも参加できるように取り組んでいる。		行事に参加できるように配慮するが、参加、不参加は利用者様の希望を聞き入れ、決定する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	近所の高齢者の緊急時に要請があれば職員が駆けつける。	近所の高齢者の緊急時に要請があれば職員が駆けつける。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	外部評価や運営推進会議で、指摘があれば、その都度、援助のあり方を検討して、正しく修正してゆく。	外部評価や運営推進会議で受けた指摘の改善とそれ以外にも安全に関する事柄を検討して、正しく修正してゆく。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	外部評価や運営推進会議で、指摘があれば、その都度、援助のあり方を検討して、正しく修正してゆく。	外部評価や運営推進会議で受けた指摘の改善とそれ以外にも安全に関する事柄を検討して、正しく修正してゆく。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	パンフレットを届けたり、相談がある時は市町村担当者との話し合いもあるが、行き来する機会は今のところ特にない。	運営上の問題点を市町村担当者に相談して連携を図り、サービスの質の向上を心掛ける。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	管理者や介護主任、計画作成担当者は、成年後見制度など利用者様に必要な時には市役所に相談している。	職員全体での話し合いは行われていない。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	学ぶ機会は特にないが、職員が利用者様に虐待することはない。職員の動きは管理者や介護主任により適正に管理され防止に努めている。	現在、利用者間の言葉の暴力がエスカレートして虐待にならないように職員が見守り、間に入って対応している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>体験入居を経て、本人様や家族様が納得した時点で契約を行い、不安や疑問点に対して明確に答えて納得して頂くように取り組んでいる。</p>	<p>体験入居を経て、本人様や家族様が納得した時点で契約を行い、不安や疑問点に対して明確に答えて納得して頂くように取り組んでいる。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱を設置して、利用者様もしくは家族様からの苦情があれば、真摯に受け止め、解決を図る。</p>	<p>利用者様や家族様の要望にお答えできるように、職員一同で取り組む。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>管理者を中心に必要に応じて適宜連絡が取れるような体制が出来上がっている。</p>	<p>今後の展望であるが、インターネットを活用して、利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理など、家族等のみが自由に閲覧して意見が書き込めるようなサービスも提供できればと思っている。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱を設置して、利用者様もしくは家族様からの苦情があれば、真摯に受け止め、解決を図る。</p>	<p>利用者様や家族様の要望にお答えできるように、職員一同で取り組む。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送りノートや気付きノートを活用して、問題提起する。</p>	<p>担当者会議等の話し合いにて、議論する。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事等の職員の数が必要な時は調整して増やしている。夜間帯は緊急事態に対応出来るように常時、二人体制で安全を確保している。</p>	<p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるように、勤務の調整を行っている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様へのダメージを最小限に抑える努力をしている。		職員が退職しても、グループホームに遊びに来たり、段階的に利用者様から離れて行くように配慮している。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員を育成する為の計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。		勉強会や資格取得などの機会を勧めて、サービス向上に努めている。
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持てるように指示している。ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		計画作成担当者が寝屋川市のケアマネの会に所属して勉強会や営業を行っている。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	まず、管理職が職員の話をよく聞き、ストレス解消に繋がる行動を起こす。		職員のわだかまりが軽減してストレス解消に繋がっている。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理職が職員の働きを把握して、向上心を持って働けるように働きやすい職場作りをしている。		勤務しやすいように職員に配慮している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	お話を良く聞き、本人様の意向に沿えるように配慮して、信頼、安心して頂けるように努力している。	段階的な手順を踏んで入居して頂いたり、帰宅願望が強い場合、職員同行にて外出したり適宜対応している。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	お話を良く聞き、家族様の意向に沿えるように配慮して、安心して頂けるように努力している。	連絡を密にして安心感、信頼して頂けるように配慮している。
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様には、グループホームに入居する事により利用者様の精神的な不安感を説明して、その延長線で必要なサービスをお勧めする事に努めている。	グループホームに入居する事により家族との繋がりが薄れないように家族と接する機会を設ける。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者様により、個人差はあるが、段階的な入居を勧めてなじんで頂いている。	まずは、体験入居から開始して、いつでも自宅に帰れるという安心感の中で生活するように勧めている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員全員が利用者様のお話を傾聴して受容と共感に努めている。	職員全員が利用者様のお話を傾聴して受容と共感に努めている。「あなたが必要」との気持ちで接している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	援助に必要な事柄の生活歴を職員全員が把握して、利用者様と家族の関係を理解して受容と共感に努めている。		職員は家族様と共に利用者様を支援しているとの意識で接する。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	援助に必要な事柄の生活歴を職員全員が把握して、利用者様と家族の関係を理解して受容と共感に努めている。		職員は家族様と共に利用者様を支援しているとの意識で接する。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービス（保育所併設）を利用してきた方には外出の機会として園児交流に出かけた時に顔なじみの人との関係が保てるように配慮している。		急激な変化がないことや、定期的な外出の機会が得られる為、家族から絶大な支持をえている。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	必要に応じて職員が中に入ったり、話題の提供にて口論を収めて、孤立しないように配慮している。		閉じこもりがちな利用者様も、喫茶やレクリエーションにお誘いして孤立を防いでいる。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要とされるならば、電話などにて、近況を聞いてみたりと関係は維持する。		当グループホームでは、管理者が退居された家族に電話して、近況を聞いている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別性を配慮した援助を心掛けている。	利用者様の希望に沿えるように好きな事は特にお勧めして満足して貰えるように努力している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴を入居時にフェイスシートに記入して、申し送りを行っている。	更新された情報も重ねて記録して申し送り支援に役立てている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送りにて職員全員が把握している。	申し送りにて職員全員が把握している。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成担当者が暫定プランを作成して、ケアカンファレンス時に職員同志でプランの見直しをしている	利用者様の変化に応じてプランも変更している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	管理者が中心になって、家族や職員に話を行って関係者全体での問題解決のアプローチを行っている。	計画作成担当者は適宜プランの変更を行って柔軟に対応している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録を元に話し合い介護計画も見直している。		日々の介護記録を元に話し合い介護計画も見直して活かされている。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能ではないが、出来る範囲の協力は惜しまずに柔軟な支援をしている。		家族様が通院の付き添いが出来ない時に職員が同行するなどの協力を行い、柔軟な支援をしている。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	文化、教育機関の催し物に参加して、間接的な協力、支援をして頂いている。		文化、教育機関の催し物に参加して、間接的な協力、支援をして頂いている。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームでは行われていない。		管理者や計画作成担当者が退居時に、相談や他事業所のサービス担当者との話し合いや紹介などを行っている。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの要請があれば、入居等の希望されている方の自宅にセンターの職員と共に訪問して、対応している。		紹介を受けて面談してから、体験入居を勧めている。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者個々に必要な医療機関を受診して頂けるように配慮している。		定期的な医療機関の受診は家族と職員で支援している。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	特に心掛けて認知症専門病院や心療内科の受診が出来るように支援している。		実際にケアを担当している職員の報告を聞き、薬の効き目や副作用を家族様や医師に報告して、同意を得た上で医師の指示に従い調整を行う。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	関連施設の正看護師に24時間何時でも電話連絡できるような体制が整っている。		グループホームの人員基準には看護師が不要だが、健康管理の点で分からない事があれば、関連施設の看護師に相談している。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時、不穏状態が続くようであれば、医師に確認を行い、早期退院にて毎日通院という形で治療する時もある。		入院時に病院関係者に認知症の患者である事を申し送り、電話ですぐに連絡できるようにしている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	継続的な医療行為が必要でない場合に限り、グループホームでの終末期ケアも実施を検討している。		現在は出来る限り、終末期近くまで支援している。入院している時は、三ヶ月間まで洗濯を届けたり、入居者と共に面会に行き、支えあっている。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	継続的な医療行為が必要でない場合に限り、グループホームでの終末期ケアも実施を検討している。		「できること・できないこと」を見極め、今後の変化に備えて検討や準備を行い、利用者様、家族と話し合っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	書面や電話での対応が多いが、話し合いや情報交換を行い、ダメージを最小限にする努力をしている。	近い場所であるならば職員が面会に行き、ダメージを軽減している。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員のモラルとして、利用者様の人権尊重、プライバシーの尊厳を厳守して利用者様の支援を行う。	利用者様がゆっくり、ゆったりした雰囲気の中で、穏やかに、その人らしく毎日の生活を営めるように配慮する。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	本人様の意思の決定権を尊重して支援している。	職員は出来る限り利用者様が納得がいくまでお付き合いする。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	本人様の意思の決定権を尊重して支援している。	職員は出来る限り利用者様が納得がいくまでお付き合いする。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	定期的に理髪店の方が訪問に来て整髪している。	おしゃれは本人様のセンスを尊重しているが、時には職員がソフトにアドバイスを行う時もある。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>献立が嫌いな食べ物の場合、他の食事を用意して楽しんで頂けるように配慮している。準備や後片付けもしたい人にして頂く。</p> <p>家族様と通院に行く時、本人様の意向があれば家族と一緒に外食を楽しんで頂く。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>お酒やタバコを望まれる方が今後入居されても当ホームでは、健康に害がない程度の最低限の支援になる見込みである。喫煙所でタバコを吸う時には職員が見守り、火の始末を確認する等の常識の範囲での対応となる。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>一部介助や薬の調整、自然排泄が出来るように、個別的に配慮した支援を行う。</p> <p>下痢の方以外は朝食時に牛乳を飲んでいただき、自然排泄を支援している。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>二日に一回入浴をお勧めしているが、本人様の意思で入浴日が前後するときがある。</p> <p>時間帯は夕方に入浴して頂いているが、毎日入浴したい方には健康にさしさわりのない程度に入浴を楽しめるように配慮している。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>個々の生活習慣に沿って、その時々状況に応じて、柔軟に対応して、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p> <p>眠れない時には、職員と時を共にして安心して頂く。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>張り合いや喜びのある生活が出来るように、職員が個別的に配慮して、生活歴や能力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p> <p>出来る事には、個人差があるが、役割を無理なくお勧めしている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解している。一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるような体制で支援している。</p>		家族様から預かったお金を、何に使ったか領収書を添えてノートに記録している。
61	<p>一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や買い物などの外出の機会を用意して、出かけられるよう支援している</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や買い物などの外出の機会を用意して、出かけられるよう支援している。</p>		寒くなったら、庭に出て日光浴をして気分転換する。
62	<p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> <p>買い物など近場で可能な所は、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>		利用者様が通院時に家族とともに出かけられる、散歩や外食をする機会がある。
63	<p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> <p>利用者様の希望があれば、電話のやり取りができるように支援をしている。</p>		現在、当ホームでは手紙を書く人はいません。
64	<p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>いつでも気軽に訪問できて、居心地よく過ごせるようなホームの雰囲気作りに工夫している。</p>		駅から徒歩5分の距離にあり、駐車場もあり環境が整っている。
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> <p>全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		いかなる場合も身体拘束はしない。法令遵守で運営している。又、なにが拘束になるかを考え、理解を深めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>玄関にセンサーアラームを設置して見守りを行う。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		<p>一日の出来事は職員同志で申し送り、把握につとめている。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>最近の福祉施設での事故例を見る限り、誤嚥の可能性を減らす事が安心した日常生活に繋がると考え、行動している。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、火災等を防ぐための知識を学び、事故防止に取り組んでいる</p>		<p>転倒防止に努め、窒息時には迅速な対応が出来るように、器具の設置がある。又、誤薬があれば、すぐに看護師に連絡して、適正に対処する。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		<p>グループホームの入居者で夜間帯に持病の悪化から心肺停止状態になった方がいたが、一人が救急隊に連絡している間にもう一人の職員が心臓マッサージを行い一命を取り留めたことがある。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけて、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>近所の方が困っているようであれば、介助などの手伝いを行っている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		<p>家族様に帰宅願望に関しての説明を行う。話し合いでは頻繁に帰宅できない家族の事情も踏まえ、家族様にいつでも連絡ができて、すこしでも安心してもらえるように対応している。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		<p>職員は日々の申し送りにより、一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努めている。体調の変化で、気付いた事は、速やかに管理者に報告、管理者からの指示に従い対応する。又、管理者から家族様に報告している。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>誤薬がないように用意して、飲み終わるまで見守り、支援する。誤薬が合った場合、薬の影響を看護師に相談して、適正に対応する。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		<p>便秘の原因や及ぼす影響を理解した上で、便秘薬だけに頼らず、自然排泄が出来るように飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		<p>毎食後、入居者全員、歯磨きによる。口腔ケアを行い、入れ歯は夜間に雑菌の消毒をお勧めして支援をしている。</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>目標として減塩、低カロリーの野菜食中心のメニューを心掛け、乳製品、魚介類、肉なども栄養バランスよくおいしく召し上がって頂けるように献立を工夫している。一日の水分量は一リットルから1.5リットル給水できるように支援をしている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対して予防や消毒などの対応や取り決めがある。		インフルエンザは予防接種を行い、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等の症状が少しでも見られたら、然るべき手順を踏み、医療機関に受診する。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防のために、調理用具等の衛生管理を徹底して行っている。専門業者からの新鮮で安全な食材の仕入れを行い、適正な調理に努めている。		調理者や利用者様の手指の消毒や布巾の除菌等実施している。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1) 居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の清掃を実施している	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の清掃を実施している。		玄関にセンサーアラームを設置して見守りを行う。単独での外出予防と外部からの訪問者に対応している。当グループホームには、利用者様の飼っていた犬が玄関にいて、番犬兼ペットの役割をしてみんなに親しまれている。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、清潔を心掛け、利用者にとって居心地良く過ごせるように配慮している。		季節感あふれる花や、ちぎり絵を飾り、殺風景にならないようにしている。
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が、限られた共用空間の中で、思い思いに過ごされている。		利用者様が一人になりたい時は、居室に戻られる場合が多いが、皆様が思い思いに過ごせるようにその都度、配慮している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>居室は利用者様が居心地よく過ごせるように配慮して、グループホームの職員が家具を運搬したり、模様替えやタンスの配置換えなど行っている。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		<p>におい発生源が口臭の場合、こまめな口腔ケア、入れ歯洗浄を行い、口腔衛生に努めている。又、口腔ケアに拒否傾向がある利用者様には歯科医に受診して口腔衛生を支援している。排泄物の場合は必要な清掃、除菌などの環境整備をこまめに行っている。温度調節を行うエアコンのフィルター洗浄も一ヶ月に一回実施して、快適な住環境</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>安全で、身体機能面での自立した生活が送れるように、散歩や歩行練習、集団体操を行っている。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		<p>「なにがあっても大丈夫」という安心感の中で混乱や失敗があっても、日常生活が意欲的に過ごせるように職員は努力している。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>建物の外周りや庭を利用者が楽しんで、活動できるように現在、工事中である。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ワンユニット8名の小規模なグループホームですが、小規模の利点、きめこまやかなサービスが提供できるように取り組んでいます。安全な環境の中で、「困った事があっても大丈夫」と利用者様に安心して頂き、日々を楽しく暮らして行けるように地域や家族様と共にこれからも健全なグループホームの運営を行って、社会に貢献します。